



校長室だより

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和6年10月25日

第23号

24日(木)は就学時健診でした。来年4月に入学予定の17名の子供たちが保護者の方に付き添われ来校しました。早めに集合が完了したので予定よりも早く始めることができました。

学校では例年どおり5年生が来入児の付き添いと補助を務めてくれました。会場間の移動やトイレの見届け等を優しく丁寧に行うなど、自覚をもってチームワークよく働いてくれました。

来入児の子供たちも皆しっかりと落ち着いて健診を受けているのが立派で、感心しました。

保護者の皆さんの心がけと子供たちの頑張りによって、この日の予定が無事、早めに終了しました。

異学年の交流を通して

★下級生へのさりげないリードと思いやり、上級生への憧れ

今週は、ペア学年で交流しながら活動する学習が目白押しでした。一つ目は「中距離走記録会」です。22日(火)の1・6年生の部では、準備運動をいっしょにした後、まず1年生が走りました。ゴールした子を6年生が順にさりげなく誘導しました。順位と記録の整理がスムーズに行えました。続いて6年生が走る番では、1年生がしきりに「がんばれえ！」とお兄さんお姉さんを声援し続けていました。声がそろってかわいらしかったですよ。中距離走が苦手な様子の6年生もいましたが、声援に力をもらい、最後までしっかりと走り抜きました。

同日に行われた2・5年生の部では、また少し違った様子が見られました。1年生よりは少し大人びた(生意気な?)2年生は、声をそろえての応援はほとんどしませんでした。5年生の力強い走りをじっと見つめ、思い思いに応援していました。自分たちの倍以上の長い距離を、予想以上に速いペースで走る上級生の姿に「すごい…！」とつぶやいている子もいました。颯爽と走り抜ける上級生の姿はとてまかつこよく、目標としたい憧れの存在なのだろうなと思います。

★名前を覚えて呼び合うことの大切さ

もう一つ、今週はペア学年でのサツマイモ掘りもありました。先週のうちに地上に出たイモのつるを切り、マルチを外しておいてくれた6年生に感謝しつつ、順に担当の畝を掘り起こしました。

皆で自然とグループになり夢中になって頭を寄せ合い掘り起こす姿があちらこちらで見られました。イモが見つかるとうれしく最後には下級生に掘らせてあげるなど、ここでも上級生のさりげない思いやりが行動に表れていました。

本校ではもともと集団登校やランチルーム給食、清掃活動等で縦割り班活動を続けてきています。休み時間等でも異学年で遊ぶ姿が見られます。さまざまな活動を通して、違う学年の子でもいつしか名前と顔を覚えて呼び合えるようになっていきます。これからもさらに、それぞれの得意なことや苦手なことを知り、お互いを尊敬したり憧れたり、思いやりの心をもって接したり、時にはライバルとして競い合ったりできる子供になってほしいと思います。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()



鑑賞、体験 etc... 芸術を楽しむ秋です

すでにHPでもお知らせしたとおり、去る18日(金)に、寺崎先生がバイオリンのミニコンサートをしてくださいました。子供たちのほとんどはバイオリンの生演奏を聴くのは初めてということで、真剣に聴き入っていました。

一方、来月の農業祭、市幼小中美術展、村椿公民館祭への出品に向け、図工の作品づくりも進んでいます。すでに廊下には仕上がった作品が展示され始めてい

ます。また、市内にある黒部市美術館とセレネ美術館の学芸員の先生に出前授業をしていただいている学年もあります。その道のプロに専門的な指導を受けられるのはありがたいことですね。

さまざまな形で芸術の秋を体験し、楽しんでいるつばきッズです。



シリーズ「教室におじゃまします」10/23(水)5年家庭科の巻

「持続可能な社会へ 物やお金の使い方」の学習でした。この日の教科書には

物を手に入れたり使ったりするとき、あなたが大事にしていることは何ですか。どういう物を選んでどのように使うかという選択は、自分が大事にしている考えを表現することでもあります。

私たちが品質のよい物や環境や資源に配慮して作られた物を選ぶと、その物はたくさん作られるようになり、世の中に出回るようになります。このように、一人一人が何を選ぶかを考えることは、持続可能な社会をつくることにつながります。



とあり、その深いメッセージと理知的な書きぶりに、私は心ひそかに感動しま

した。これからの社会を生きる子供たちにとって本当に大事な学習だと思えます。引き続き教科書には「SDGs(持続可能な開発目標)」が紹介されていました。山本先生は、その1~17の中から1つ選んで調べてみよう子供たちに課題を与えました。環境や資源に配慮した生活について

考えさせたいということだろうと思えます。

少し難しい内容かと思われましたが、さすが5年生、インターネットや関係する図書等を使い、さっそく調べ始めました。**12 作る責任使う責任**...学校給食で一人当たり年間7.1kgの食べ残しがあることや、**11 住み続けられる町づくりを**...

2023年、世界で2640万人もの人が住む家を失ったこと等々を調べて発表しました。さらにそこから「自分がどのように行動したいか」を考えていくことになりました。子供たちが世界の問題に気付き、自分事として考えていくことを期待しています。



<おまけのひとりごと>中距離走記録会の前日あたりからソワソワと落ち着かない様子の子がいました。「校長先生、代わりに走ってくださいよ」などと軽口をたたき、中距離走が苦手な様子です。「私は子供の時にいっぱい走ったから、今はあなたたちの番だよ」と突き放してから「苦手なこともなんとか乗り越えたら、やがては笑い話のような思い出になるよ」と励ましておきました。記録会本番、その子は速い子からは2周ほど差を付けられながらもなんとか最後まで走りきり、見事ゴール！そして笑顔。よかったよかった。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()